



開会にあたり挨拶する山崎善也会長

千葉県成田市で令和初の総会
山崎会長が5回目の再任

世界連邦宣言自治体全国協議会（会長、山崎善也・綾部市長）の令和元年度総会が、8月23日、千葉県成田市で開かれ、役員改選では山崎善也会長など役員全員の再任が決まった。

令和初となる総会には、加盟自治体の首長や議長、関係職員のほか、来賓として世界連邦推進日本協議会の野田武

志事務局長らを招き、約20人が出席した。

挨拶に立った山崎会長は、「緊張が高まりつつあり、一つの国による『核』の管理の限界があらわになってきている」と述べ、「世界連邦を実現する信念を持った我々が、行動を示していく必要がある」と訴えた。

また、今夏綾部市で実施した12回の中東和平プロジェクトについて触れ、「希望がある限り平和は訪れる」と確信している」と述べた。

開催市である成田市の小泉院国際診療科・部長、国際救研修会では、成田赤十字病院

議事では、昨年度の事業・決算報告、令和元年度の事業計画・予算、役員改選及び規約の改正について原案どおり承認・決定した。

世界連邦宣言自治体全国協議会（会長、山崎善也・綾部市長）の令和元年度総会が、8月23日、千葉県成田市で開かれ、役員改選では山崎善也会長など役員全員の再任が決まった。

志事務局長らを招き、約20人が出席した。

挨拶に立った山崎会長は、「緊張が高まりつつあり、一つの国による『核』の管理の限界があらわになってきている」と祝辞が寄せられた。

また、今年で設立70周年を迎える世界連邦日本国会委員会の衛藤征士郎会長からは、「世界連邦宣言自治体全国協議会と連携しながら努力する」との祝辞が谷本事務局次長から伝えられた。

千葉県成田市で令和初の総会

山崎会長が5回目の再任

いま、一つの世界を

自治体協新聞

発行 世界連邦宣言自治体全国協議会
(事務局= 京都市綾部市)
〒623-8501 紫竹町8-1
TEL (0773) 42-4217
FAX (0773) 42-4406



成田市・小泉一成市長

一成市長は「昭和33年に世界連邦平和都市を宣言した平和実現を目指して取り組んでいきたい」と挨拶した。

世界連邦推進日本協議会の海部俊樹会長からは「軍事力ではなく、世界法による平和を打ち立てる世界連邦運動に、さらに関心をもって取り組んでください」と希望します」と祝辞が寄せられた。

また、今年で設立70周年を迎える世界連邦日本国会委員会の衛藤征士郎会長からは、「世界連邦宣言自治体全国協議会と連携しながら努力する」との祝辞が谷本事務局次長から伝えられた。

ユニセフ・UNHCRに寄託

世界連邦宣言自治体全国協議会が呼びかけて実施した「世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金」は、平成30年度分として、157自治体から計5,143,636円が集まり、世界連邦推進事業基金積立

のほか、本年7月4日に国連UNHCR協会と日本ユニセフ協会へ50万円ずつを寄託した。これらは、紛争や迫害で祖国を追われた人々、飢えと病気・貧困に苦しむ子どもたちの救済に活用されます。

取り組みは昭和61年度から継続的に実施している。

自治体職員一人100円募金

ご協力ありがとうございました



浅香朋美 氏

介。「世界平和の実現には想像力が必要」と訴えた。

別表 (役員自治体)

役員名	自治体名
会長	綾部市(京都府)
副会長	武藏野市(東京都)
	金沢市(石川県)
	焼津市(静岡県)
	成田市(千葉県)
	青梅市(東京都)
	小金井市(東京都)
	福生市(東京都)
	輪島市(石川県)
	宇治市(京都府)
	兵庫県(兵庫県)
	神戸市(兵庫県)
	岡山市(岡山県)
	広島市(広島県)
	松山市(愛媛県)
	新居浜市(愛媛県)
理事	三鷹市(東京都)
	亀岡市(京都府)
監事	

*首長名は割愛しています。

中東和平プロジェクト 綾部市で3回目の実現！

8月14~20日の日程で、「中東和平プロジェクト in 綾部」(主催=中東和平プロジェクト綾部市実行委員会、後援=外務省・京都府)が開催された。

「中東の和平は世界の平和に通じる」との理念から2003年に綾部市で始まり、現地の紛争で親族等を亡くした若者らを招き交流を行ってきた当プロジェクトは、昨年の亀岡市開催以来、全国で12回目。綾部市では3回目の実現となった。

当協議会としても、全国の自治体職員からの募金を財源とする交付金を交付するなど世界の恒久平和実現のための中核事業として支援を行っている。



想定外のプログラム 変更

7月に招へいする8人のメンバーがようやく決まり実現した今回のプロジェクトは、想定外の変更が続いた。

現地出発予定の13日、パレスチナ側の4人が手続き上の問題で搭乗できず空港で足止めに。イスラエル側の4人のみが14日夕刻に無事到着し、

綾部市役所を表敬。ホストファミリーとの対面を果たした。

その頃、日本では台風10号が襲来。翌15日に予定してい

た綾部市民平和祈願の集い、盆踊りなどのイベントがやむなく中止となつた。

1日遅れで現地を立ったパレスチナ側は台風の影響で成田国際空港に到着。新幹線等を経由し綾部で合流したのは15日の夜中23時過ぎ。出発から丸3日が経つていた。



ホームステイ先で浴衣着付け体験を行う参加者

双方が揃ってのホームステイ体験はわずか1泊2日のみとなつたが、限られた時間の中でホストファミリーを含めた交流を行つた。



市民大会で挨拶する山崎善也・綾部市長(大会実行委員長)

から復興を遂げた日本は、私たちの手本」と述べた。

また、イスラエル側の代表で2016年の高野町プロジェクトにも参加していた、イタ・レシエム氏は、「多くの困難を乗り越え、揃つてここに立てたことは光栄。いつかイスラエルとパレスチナの紛争が『過去のもの』と言える日が来ることを願う。」と語った。

市民を前に力強く アピール

綾部市での最終日となる16日には約150人が出席し、市民大会が開催された。

実行委員長の山崎善也・綾部市長は、「このプロジェクトの小さな取組が、大河の一滴であつても、世界の恒久平和の実現に向けた一步となることを願う」と挨拶。8人の参加者はそれぞれの体験や思いを力強く訴えた。

パレスチナ側の代表、ムハンマド・アブジャファル氏は、「紛争遺族会でのイスラエルの人との交流を通じて、彼らも同じ人間だと気付いた。戦争

た。一行は、16日から2日間、亀岡市の大本本部に宿泊。17日に京都市内で観光施設等を見学した後、18日に貸切バスで東京へ移動。19日には、参議院議長公邸で山東昭子議長、外務省で山田賢司大臣政務官とそれぞれ面会し、紛争遺族会の取組などについて紹介。

参加者への激励、当プロジェクトについての高い評価を受けた。

翌20日で全行程を終え帰国の途に就き、約1週間に及ぶプロジェクトは無事に終了しました。



山東昭子・参議院議長を取り囲む参加者ら

世界連邦推進事業交付金の申請は12月末まで

当協議会では、加盟自治体等が行う世界連邦推進事業に対する交付金制度を平成23年度に創設しています。

この交付金を受けるには、「世界連邦」を標榜し、この交付金を受けている旨を表示していること、他の補助金等を受けていないことなどが条件で、交付金の額は、交付対象経費の10分の10以内。限度額は50万円となっています(申請期限は、事業実施年度の前年12月末まで)。